

平成25年度実施結果

■提案件数

19件（自由提案14件、テーマ提案5件）※内取り下げ2件

■採用件数

3件（自由提案2件、テーマ提案1件）※内2件は条件付採用

■一部採択件数

1件（自由提案1件、テーマ提案0件）

■趣旨採択件数

4件（自由提案4件、テーマ提案0件）

■一部趣旨採択件数

3件（自由提案1件、テーマ提案2件）

※テーマ提案のテーマは、「木津川市の魅力アップと魅力発信の方策について」

※趣旨採択とは、提案内容をそのまま実現するのは難しいが、提案の趣旨に沿った取り組みを進めていくべきであると判断されたもの

※一部趣旨採択とは、一部の提案内容において提案内容をそのまま実現するのは難しいが、提案の趣旨に沿った取り組みを進めていくべきであると判断されたもの

■採用提案の概要

<採用>

提案件名	区分	提案の概要	賞	審査結果理由
引継ぎ！受け継ぎ！いいね？計画	自由提案	事務引継書を「マニュアル編」「継承編」の2部構成とし、ルールづくりを行い課内で共有を図る。	アイデア賞	一部既に取り組まれているが、業務の効率化に寄与するものである。
市有バスの有効活用について	テーマ提案	市有バスにいづみ姫のステッカーを貼ることにより市のPRを行う。	アイデア賞	いづみ姫のPR、普及につながるものである。
古紙（雑がみ）回収の取り組み強化について	自由提案	広報折込でいづみ姫をプリントした紙ごみ回収用袋を配布し、リサイクル意識向上に繋げる。 また、当該経費は事業者による広告収入により賄う。	市長特別賞	市民のリサイクル意識の向上に寄与し、ごみ処理に係る経費削減にも繋がるものである。

<一部採択>

提案件名	区分	提案の概要	賞	審査結果理由
「木津川市 英語村」 設立構 想 — 生きる力を はぐくむ 対話 教育の観点から —	自由 提案	学習意欲の低い児童生徒の意欲喚起のため、英語による対話型学習を行う「英語村」を設立する。 英語村では、英語しか通じない異空間で「自ら表現しなければ生活でいない」体験を通じ、新たな自己表現の発見や刺激につなげる。	—	全ての事業を実施することは困難であるが、英会話ができる場の提供及び英語を学ぶきっかけの一つと考えられる。 また、様々な角度から特色のある授業について検討する必要がある。

<趣旨採択>

提案件名	区分	提案の概要	賞	審査結果理由
市場化テストの 導入	自由 提案	即戦力の職員を安価で雇用できる再任用制度の活用し、市場化テストを導入の検討を行う。	—	すぐに実施することは困難であるが、指定管理制度を常に検証していくことは重要である。
民間企業経験者 職員採用及び職 員等昇任試験に ついて	自由 提案	民間企業等経験者採用試験による即戦力職員の採用及び係長等昇任昇格試験を実施することにより、職員の士気向上、組織力の向上を図る。	—	民間企業経験者の職員採用は一部実施しているが、職員の採用方法や、昇任試験を検討していく必要がある。
軽費作業におけ る一斉民間委託 及び雇用促進に ついて	自由 提案	業務繁忙時の封書づめや確認作業を民間委託で行い、職員の時間外手当や光熱費の縮減を図る。	—	既に一部実施している事務もあるが、人件費・物件費の削減については今後も進めていく必要がある。
職場環境の改善 について…「心 の病」ゼロを目 指して	自由 提案	市職員ではない独立した相談窓口 に心理カウンセラーや保健師の常駐させることにより心の病の予防を行う。 また、全職員に標語を募集することにより意識改革を行う。	—	既に一部取り組んでいるが、職場環境の改善は重要であり、引き続き提案の趣旨に沿った取組みを進めていく必要がある。

<一部趣旨採択>

提案件名	区分	提案の概要	賞	審査結果理由
木津川市の魅力アップと魅力発信の方策について	テーマ提案	イベント等への更なる参加、広報紙への姫ニュースの毎月掲載、グッズの作成・販売、福寿園や横山由依氏とのコラボ、他のゆるキャラとの共演、木津川市七福神計画等により、いつみ姫の認知度の向上を図る。	—	七福神計画や福寿園・横山由依氏とのコラボの実現は困難であるが、いつみ姫の露出度アップについては、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。
市職員における事務服、作業服の貸与等について	自由提案	全職員へ事務服及び災害時に職員の身分を示すものとしての作業服を貸与する。	—	事務服を公費で購入することは困難であるが、災害時に木津川市とわかるような統一した作業服の必要性は認められる。
「秀菜トマトプロジェクト」京大農場を核とした“みのり”多いまちづくり～木津川市戦略企画室の設置～	テーマ提案	京大農場移転に向けた京大ブランドイメージを定着させるために5つのプロジェクトを実施する。また、市民や企業が求めている市場を調査し、ニーズに応じた事業の実施に向け、実現するための条件整理を行う部署として、戦略企画室を設置する。	—	全庁的なマーケティング調査のみに特化した戦略企画室の設置は二重行政となるため、設置は困難であるが、京都大学との連携と活用については、取組可能な提案について、今後、関連機関と調整した中で進めていく必要がある。